

お知らせ

• GWのお知らせ

カレンダーどおりの予定です、祝日は休診日となります。

休診日：4/29・5/1(木曜日)・5/3・5/4・5/5・5/6



• MRワクチン・おたふくかぜワクチンについて

出荷制限のため供給量が不安定となっており、十分な数のワクチンが確保できない状況が発生しております。

年長さんの2回目接種(4月以降)は在庫状況を見て予約を受け付けさせていただきます。

最新の情報はHPに掲載しますので、ご確認ください。

4/21現在、おたふくかぜワクチンは2回目も予約可能です。3種混合ワクチンとの同時接種もおすすめです。

なお、MRワクチンの定期接種については、2027年3月31日まで2年間延長されることとなりました。

• 3種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風)について

主に4-6歳、11-12歳、小さい赤ちゃんと触れ合う機会が多い大人に接種が推奨されています。任意接種として当院でも接種可能です。ワクチンは取り寄せ・予約が必要となります。

• 荒川区1歳6か月健診

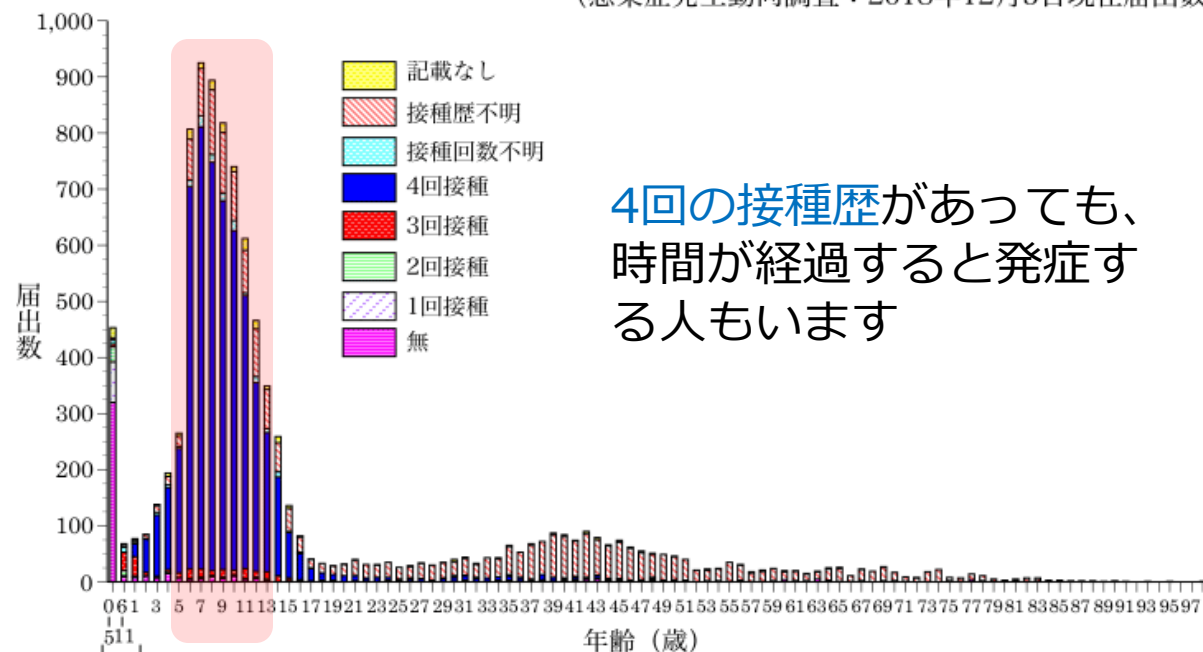
今年度から個別健診となり、当院でも実施しています。予約はお電話、またはスタッフまでお声がけください。

3種混合ワクチンを接種しましょう

- 3種混合ワクチンはジフテリア・破傷風・百日咳を防ぐためのワクチンで、定期接種として4種混合ワクチン（3種混合+ポリオ）が、0歳から1歳にかけて4回の接種が行われています。
- ワクチンの免疫は時間の経過で低下するため、特に7～9歳で百日咳の免疫が低下しており、実際に百日咳を発症する子どもたちが多くと報告されています
- 2025年は患者数の増加が報告されています。

図4. 年齢・予防接種歴別百日咳症例届出数,* 2018年第1～48週 (n=9,674)

(感染症発生動向調査：2018年12月5日現在届出数)



*百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン（初版）に則った症例のみを抽出

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

3種混合ワクチンを接種しましょう

- 百日咳は激しい咳が長く続く辛い病気だけでなく、ワクチン未接種の赤ちゃんが感染すると命に関わることもあります。
- 日本小児科学会では免疫が低下し始める、小学校入学前に3種混合ワクチンの追加接種を推奨しており、当院でも同様に接種を推奨しています。
- 11-13歳未満に接種する2種混合ワクチン(公費)を、3種混合ワクチン(自費)に変更することも推奨されていますので、こちらについてもどうぞご相談ください。
- その他、小さい赤ちゃんに関わる機会のある大人も接種が推奨されており、任意接種として接種可能です。妊娠中に接種を希望される方は個別に小児科医師までご相談ください。



接種費用：¥5,000